

リフォーム専業から新築開始3年目で20棟目指す。

ネット集客システムで月10組以上の土地なし客集める

躍進ビルダーレポートVol.3

sinken 2015.03.10



クライムホーム リアライズ (埼玉県久喜市)

黒須登喜男 社長

ページへの流入が全くなかつたのですが、今は一定の反響が出るようになつていますから、手間を掛けずに結果が出るようになつたわけです。

—手間が掛からないで、効果が上がるはなぜなのでしょうか。

チタンさんがネットでの集客「ウハウ」をしっかりと蓄積している点が大きいと思います。毎月、月初に

チタンさんとネット集客に関する会議を行い、月末までにホームページも

改めて改善をしてもらうと思います。また、社内で内

部くらべいすつ折り込んでいます。地域性などを含めて改善をしてもらう

チタンさんが良いと考えています。また、社内で内

部くらべいすつ折り込んでいます。地域性などを含めて改善をしてもらう

チタンさんとネットでの集客をすべてチタンに

アウトソーシングして効率化に成功

ます。それで3件ぐらいの反響だつたとすると1件あたりのコストは10万円ですからね。「土地大臣」の場合、月に6~10件くらいの反響を確実に集めてくれます。「土地大臣」に掛かるのはチラシの約半分で、月に15~20万円のコストですから、反響1件当たりのコストは1.5~2万円程度です。

—チタンさんのチラシとの違いが伝わりにくかったのでしょうか。

—土地大臣の魅力はどん

なう。もう少し、建物のデザインを打ち出して、建築の会社だという点を知つてもらいたいですね。月20件の

ネットからの土地なし客集客を実現できるように

—今後については、ネットからの土地なし客集客を実現できるように

前回のウチの年間売上は4億円で新築4とりリフォーム6の比率となっていました。

—今後については、ネットからの土地なし客集客を実現できるように

—今後については、ネットからの土地なし客集客を実現できるように

—今後については、ネットからの土地なし客集客を実現できるように

リファイン久喜としてリフォーム事業を行ってきたクライムホームリアライズ(埼玉県久喜市)。2012年から新築事業をスタートさせ、初年度と2年目に7棟を受注。3年目となる今年は20棟ベースで受注を重ねている。同社の新築事業の成長を支えるのはネット上で土地なし客を集客するシステムだつた。黒須登喜男社長を取材した。

新築集客で苦戦 試行錯誤続ける

—リフォーム専業で事業を行っていた御社が新築事業を始めたきっかけは。

2012年に不動産部を設立したのがきっかけです。元々は中古住宅の流通を取り組む必要性を感じていたからです。リノベーションなどの大型工事を獲得する狙いでした。ただ、予想外に新築の要望が多く、中古住宅の流通については棚上げになってしまっています。

—新築の集客はどのように行っているのですか。

チラシが中心でした。新聞や地域情報誌に1回5万枚ほど登場していました。チラシですが、費用対効果の良さが際立つて驚きました。

不動産情報を掲載したチラシが中心でした。新聞や地域情報誌に1回5万枚ほど登場していました。チラシですが、費用対効果の良さが際立つて驚きました。

—チタンのネット集客システム「土地大臣」を利用し始めたのはいつからですか。

2014年の4月です。2014年4月です。

「土地なし客」専用サイトと「建物客」用のホームページとのダブルサイト集客囲い込み戦略で集客単価1.8万円を実現!



クライムホームリアライズ躍進のポイント

- 1 集客に手間を掛けない分、営業に労力を集中させる
- 2 費用対効果の悪かったチラシ広告にネット集客を加えて毎月、一定の集客数を確保
- 3 ホームページなどのネット上で集客をすべてチタンにアウトソーシングして効率化に成功